

「清流の国ぎふ森林・環境税」に関するアンケート調査結果

森林活用推進課

1 調査目的

「清流の国ぎふ森林・環境税」(以下「県森林・環境税」という。)に対する県民の皆さんの意識を把握し、今後の森林・環境施策の基礎資料とさせていただくために、ご意見などを伺いました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター 803人(郵送モニター305人、インターネットモニター498人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和4年6月20日～7月11日

回収結果: 755人(回収率:94.0%)

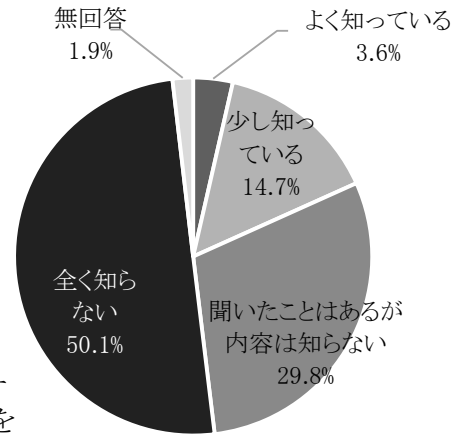
構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

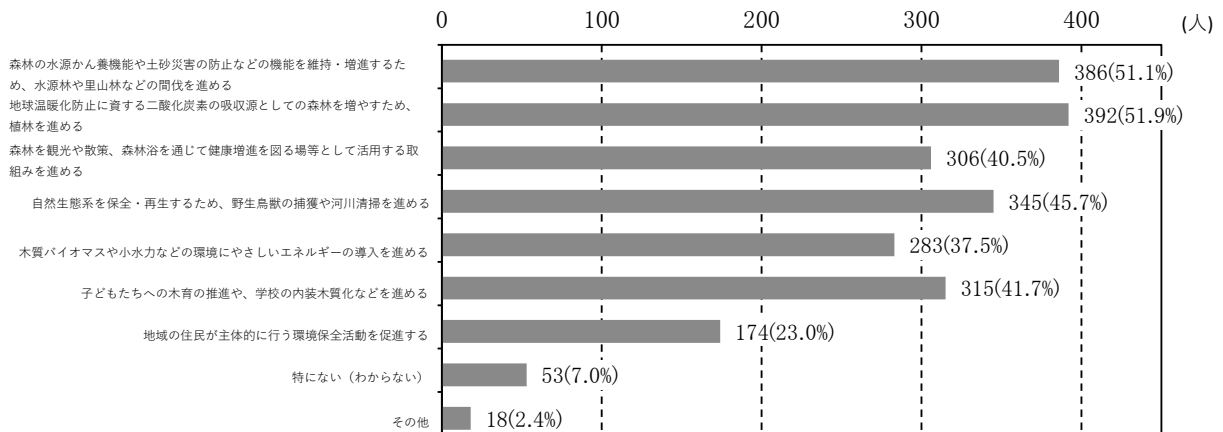
○ 県森林・環境税の認知度について

「県森林・環境税」の認知度は、48.1%（「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」の合計）となっている。一方、「全く知らない」は50.1%となっている。



○ 県森林・環境税の使いみちについて

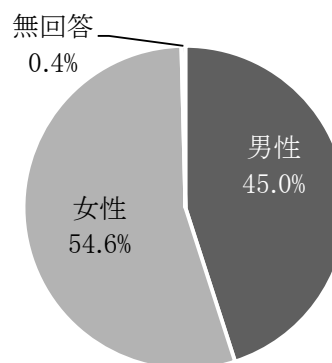
「県森林・環境税を活用した取組み」について、引き続き最も県で取り組んでほしいものは「地球温暖化防止に資する二酸化炭素の吸収源としての森林を増やすため、植林を進める」が51.9%、次いで「森林の水源かん養機能や土砂災害の防止などの機能を維持・増進するため、水源林や里山林などの間伐を進める」が51.1%となっている。



4 回答者属性

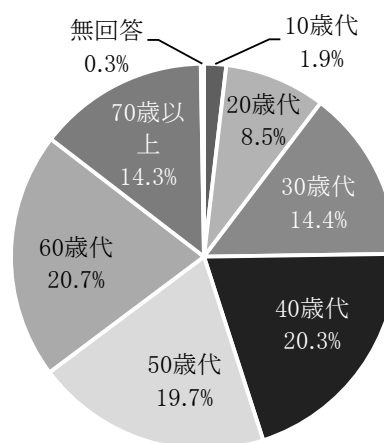
(1) 性別

	人数	割合
男性	340	45.0%
女性	412	54.6%
無回答	3	0.4%
計	755	100.0%



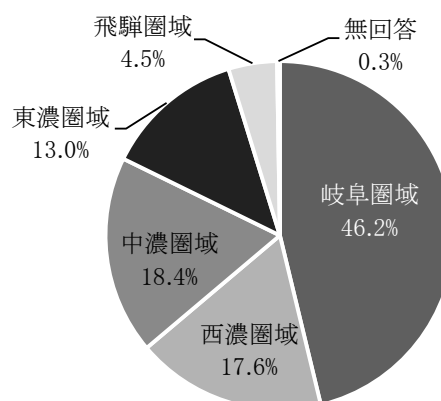
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	14	1.9%
20歳代	64	8.5%
30歳代	109	14.4%
40歳代	153	20.3%
50歳代	149	19.7%
60歳代	156	20.7%
70歳以上	108	14.3%
無回答	2	0.3%
計	755	100.0%



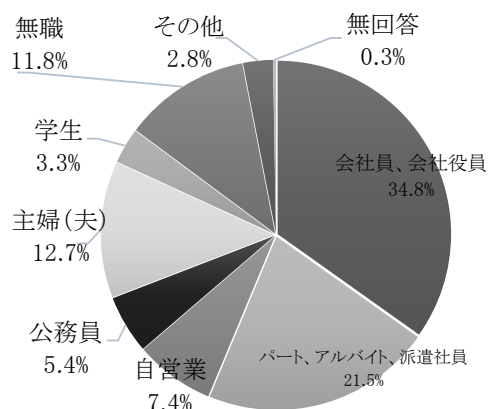
(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	349	46.2%
西濃圏域	133	17.6%
中濃圏域	139	18.4%
東濃圏域	98	13.0%
飛騨圏域	34	4.5%
無回答	2	0.3%
計	755	100.0%



(4) 職業別

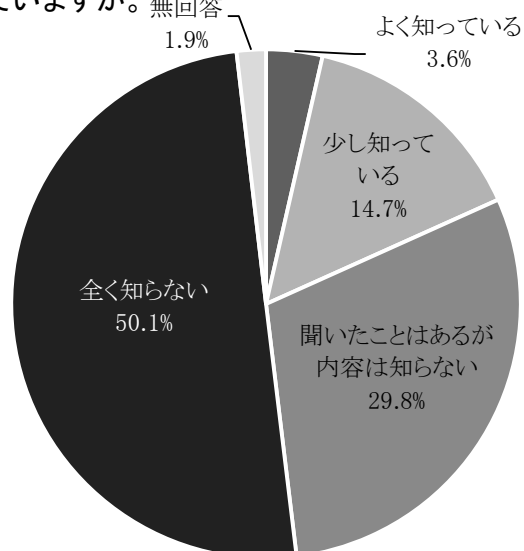
	人数	割合
会社員、会社役員	263	34.8%
パート、アルバイト、派遣社員	162	21.5%
自営業	56	7.4%
公務員	41	5.4%
主婦(夫)	96	12.7%
学生	25	3.3%
無職	89	11.8%
その他	21	2.8%
無回答	2	0.3%
計	755	100.0%



5 調査結果

問1 あなたは、県森林・環境税について知っていますか。

	人数	割合
よく知っている	27	3.6%
少し知っている	111	14.7%
聞いたことはあるが内容は知らない	225	29.8%
全く知らない	378	50.1%
無回答	14	1.9%
計	755	100.0%

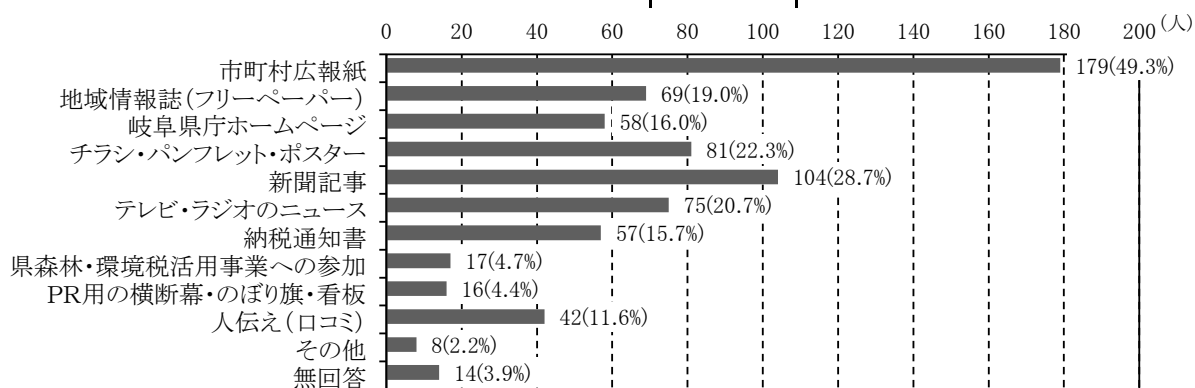


(問1で「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方)

問2 あなたが、これまでに県森林・環境税について見たり聞いたりしたことのある媒体について、次の中からあてはまるものをすべてあげてください。

(複数回答) 回答者 363 人

	回答数	割合
市町村広報紙	179	49.3%
地域情報誌(フリーペーパー)	69	19.0%
岐阜県庁ホームページ	58	16.0%
チラシ・パンフレット・ポスター	81	22.3%
新聞記事	104	28.7%
テレビ・ラジオのニュース	75	20.7%
納税通知書	57	15.7%
県森林・環境税活用事業への参加	17	4.7%
PR用の横断幕・のぼり旗・看板	16	4.4%
人伝え(口コミ)	42	11.6%
その他	8	2.2%
無回答	14	3.9%
計	720	-

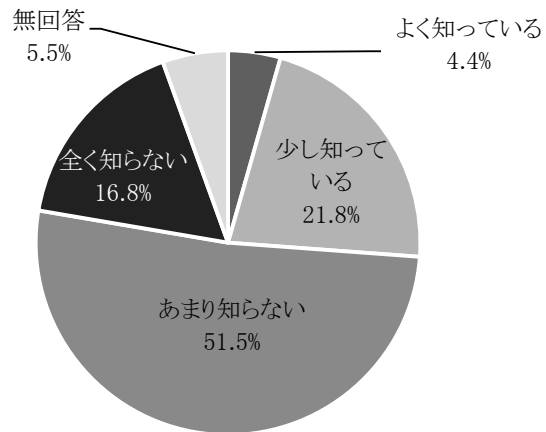


【その他】 登山道の看板、ぎふ木遊館 等

(問1で「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方)

問3 あなたは県森林・環境税の使いみちをご存じですか。

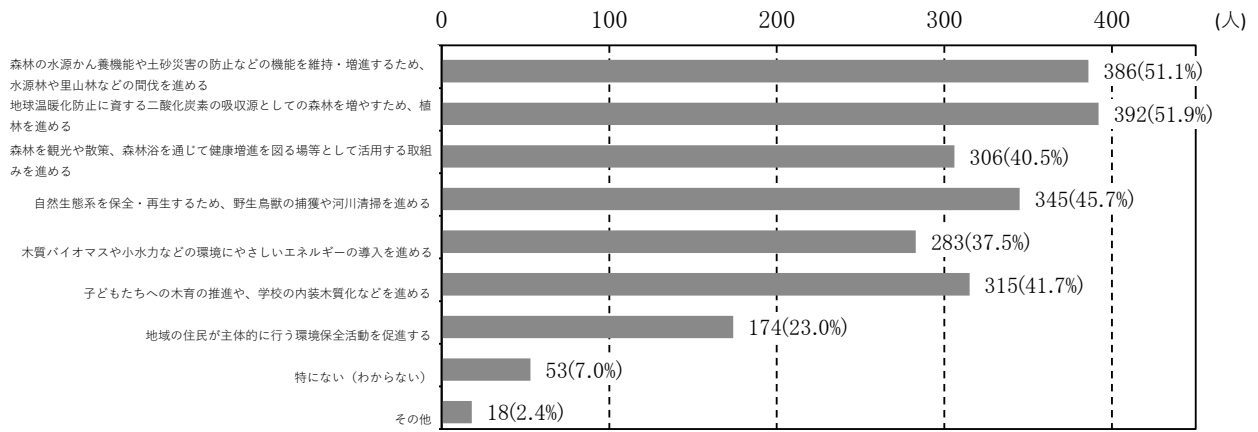
	人数	割合
よく知っている	16	4.4%
少し知っている	79	21.8%
あまり知らない	187	51.5%
全く知らない	61	16.8%
無回答	20	5.5%
計	363	100.0%



問4 県森林・環境税は、現在、森林づくりや、川づくり、水環境の保全などに関する取組みに活用されています。県森林・環境税を活用して、あなたが県で取り組んでほしいと思うものについて、次の中からあてはまるものをすべてあげてください。

(複数回答) 回答者 755 人

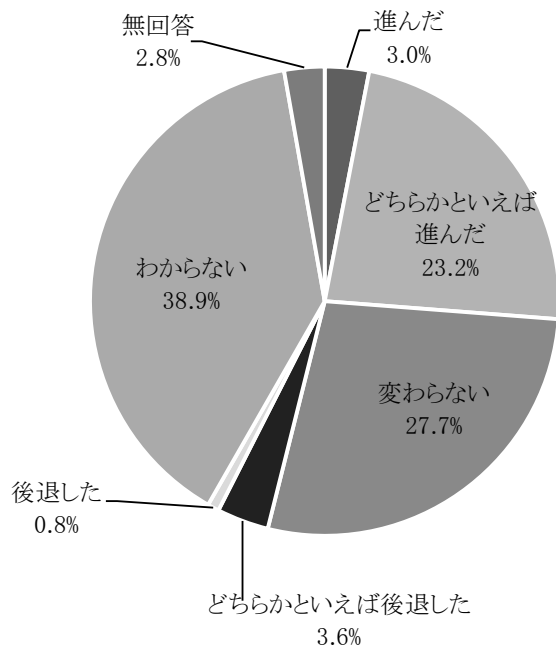
	回答数	割合
森林の水源かん養機能や土砂災害の防止などの機能を維持・増進するため、水源林や里山林などの間伐を進める	386	51.1%
地球温暖化防止に資する二酸化炭素の吸収源としての森林を増やすため、植林を進める	392	51.9%
森林を観光や散策、森林浴を通じて健康増進を図る場等として活用する取組みを進める	306	40.5%
自然生態系を保全・再生するため、野生鳥獣の捕獲や河川清掃を進める	345	45.7%
木質バイオマスや小水力などの環境にやさしいエネルギーの導入を進める	283	37.5%
子どもたちへの木育の推進や、学校の内装木質化などを進める	315	41.7%
地域の住民が主体的に行う環境保全活動を促進する	174	23.0%
特にない(わからない)	53	7.0%
その他	18	2.4%
計	2,272	—



【その他】 絶滅危惧種の動植物の保護、地域住民の活動をサポートする人と組織の育成 等

問5 近年、森林や川、水環境、生物多様性、自然環境に関する県の施策は進んだと感じますか。

	人数	割合
進んだ	23	3.0%
どちらかといえば進んだ	175	23.2%
変わらない	209	27.7%
どちらかといえば後退した	27	3.6%
後退した	6	0.8%
わからない	294	38.9%
無回答	21	2.8%
計	755	100.0%



問6 その他、森林や自然環境に関する県の施策に対して、ご意見などがございましたら、お聞かせください。

【主な意見】

(広報について)

- どんなことをしているのか、もっと情報発信してほしい。
- 「ぎふ木遊館」のような木の道具やおもちゃがある遊び場は、子どもから大人まで楽しめるので、広報誌やテレビ等で紹介すると思います。地元の良さを感じられる遊び場で子どもたちもおもちゃを通じて自然に親しめると思います。
- 今回初めて県森林・環境税というものを知ったので、何に使われているか、どういう取組みをしているのかをもっと一般の県民も知れる機会があると思います。

(問題提起)

- 5年後10年後を見据え、子どもたちへの森林や自然環境に関わる教育が重要になってくると思います。学校教育に大いに取り入れるべきだと思います。
- これからも自然環境の保全のために、近年叫ばれているSDGsを意識した活動が大切ではないでしょうか。
- 森林保全による恩恵を考えると、多くの人の参画により、より良い方向へと進まねばならないと思います。
- 森や山などの整備に力を入れ、県民のみならず他県や他国からも訪れたいような場所を増やしてほしい。やはり、小さなころから森の大切さや機能、美しさや気持ちよさを教育していくことが大切。

(使途について)

- 学校で体験しながら学べる授業をしてほしい。学校の先生以外の人に教えてもらいたい。
- すべての河川に魚が住めるように水環境の保全に努めてほしい。
- 近年自然災害が拡大する中で、森林や自然環境を保全していくことを大いに推進してほしいと思います。
- 岐阜は花粉が多すぎるので、スギやヒノキを伐採して欲しいです。
- 出産してから、木育が盛んにおこなわれていることを知りました。民間の施設で似たようなところもありますが、規模の大きな木育ひろばが増えると嬉しいです。

(その他)

- この取組みをもっと進めてほしいと思います。将来に今の自然環境を残すことは私たちの義務だと思っています。
- 岐阜県の自然環境の維持は、これからの岐阜県の発展にも大切な役割であると思っているので、県森林・環境税を利用して開発や施策を行うことはとても賛成です。